

学童保育を活用した 小学生への気候変動教育プログラムの 開発と指導員育成

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

プログラム参加者 **4,482人**

参加者の
環境配慮意識変化率 **80%**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **90%**



プログラム実施の様子

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

より多くの主体と継続的に「子ども達が集まる場」や「学童保育」等の現場において実施を行ってもらうための連携協力先の構築づくりや、その広報に苦勞した。

■工夫した点

複数箇所の自治体から学童保育や児童館の運営を委託されている団体・企業の統括本部に連携協力を打診・広報することによって、多くの現場とつながることができた。

課題

女性の社会進出から今後拡大が見込まれる学童保育の場において、地球温暖化問題に継続して取り組める教育プログラムの存在は皆無に等しく、実施体制が整っていない。

目標

地球温暖化防止への行動を当たり前にとれるようになることを目標として、「第二の家庭生活」である学童保育の現場で活用できるプログラム・ツールの開発を行い、展開する。

活動内容と成果

- 開発したプログラム(以下PG)は、全国の学童保育を中心に、児童館や環境学習施設、環境講座等で実施された。全国55か所、4,482人が参加(児童4,072人、指導員410人)
- PG実施者を対象とした「プログラム体験・情報交流会」を2回行った(各回36人、25人の参加者)
- 環境マークPG実施を通じたフォローアップ調査の結果、約85%の家庭で会話が生まれ、その会話を多く行った家庭では、約80%の親子に意識変化があり、環境配慮意識の向上・継続へと結びついていると思われる結果が得られた



開発した「二十四節気プログラム」一式



開発した「環境マークプログラム」一式

全助成期間の活動を振り返って

初年度は地球温暖化防止・環境業界と学童保育業界の事業連携の前列は、ほぼゼロに等しかったため、理解・協働模索において苦勞した。少しずつ連携先が構築され、2年目以降は学童保育の運営委託団体・企業とつながる機会を多く得ることができた。第二の家庭生活である学童保育で継続的に子ども達と接する指導員の意識の変化や、子ども達のみならずその家庭への波及が大きく見込まれることが判明したことは大きな成果であった。

| 活動地域 | 日本全国

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町1-12-3 第一アミビル4F

電話：03-6273-7785

<https://www.zenkoku-net.org/>



今後の
展望

本事業で開発したプログラムを、さらに多くの場で展開していくために、積極的かつ活発なCSR・CSV活動、SDGs活動に取り組む企業や学童保育の運営委託団体・企業と連携・協力ができないか検討を行っている。特に、環境マークプログラムは、市民の直接的な環境配慮行動につなげることが可能であることがフォローアップ調査結果として得られているため、その結果を元に協力連携を模索する予定である。